

すくすく みごちっこ

与謝野町立三河内小学校
研究推進だより
令和5年7月19日

気づきを行動につなげ、生き生きと学び続けるみごちっ子の育成
～学校における「つながり」、家庭・地域との連携を通して～



7月18日 命を守る行動講演

いよいよ、楽しい夏休みがやってきます。1学期は、健康安全教育に関わる取組をたくさん実施することができました。それぞれの取組の成果と課題を整理して、2学期以降の活動に生かしていきます。

7月に実施した健康安全教育に関わる取組を紹介します。

〈みごちっ子タイム〉木曜 朝8時30分～



7月13日 タオルの準備をありがとうございました。

熱中症予防チャレンジ

熱中症を予防するために、冷やすと効果的な体の部分について知り、実際にぬらしたタオルで冷やす体験をしました。連日猛暑が続く中、チャレンジ当日は雨が降って少し涼しく感じる日でした。しかし、元気に朝休みに遊んできた子どもたちは首筋にタオルを当てて「気持ちいい」とその効果を感じていました。

〈5年研究授業〉

『けがの防止』7月13日

5年生は、保健の研究授業を行いました。身の回りの危険を予測し、事故やけがを防ぐためにどのような対策が必要かを考えました。

研究授業は全6時間の単元の2時間目の授業でした。前時の「事故やけがは人の行動と環境が関わり合って起こる」という学習を踏まえ、身近な場面を例に人の行動と環境の2つの視点に立って対策を考えました。一人一人がしっかりと自分の考えをもち、グループで交流して対策をまとめることができました。

グループ交流では、タブレットを有効に活用することでお互いの考えを共有することができていました。一人一人が考えた対策を、グループとして「必要なことランキング」にまとめる話し合いを通して、危険を予測して対策を立てることの意義に気付くことができました。

保健で学習したことが、実生活での安全な行動につながるようにしていきたいです。



〈健康と安全についてのアンケート〉

全校児童対象に、健康や安全について実態や意識を問うアンケートを実施しました。保護者の方にも、2学期にお世話になりたいと考えています。詳細はまた改めてお知らせします。